

訂正版

「クラブ研修リーダー・クラブ研修委員会名称変更について」ご案内

クラブ研修リーダーの名称が変わるという情報がロータリーの友8月号40ページに掲載されました。クラブ研修リーダーとクラブ研修委員会委員長は兼務しているクラブと別々に任命されているクラブがありますが、どちらを採用するかはクラブの任意です。しかしこの2つの役職は必ずクラブ組織の中に組み入れて下さる様お願い致します。

2023年7月1日から「研修」と云う言葉は国際ロータリーでは全面的に「ラーニング」に変わります。原文ではクラブ研修リーダーは Club Trainer でもともとリーダーと云う言葉は入っていません。新しい名称は Club Learning Facilitator、「クラブ・ラーニングファシリテーター」となります。

Training から Learning に変更されました。

RI の行動計画の目標の一環により、学びのアプローチは、研修モデルからラーニングモデルに移行し、これは、参加者を活動の中心に据えるという考え方となり、会員自らが積極的にラーニング(学び)に関与し、それを自らコントロールできるようになることを意味します。

リーダーの役割は、会員が情報を教える「講師」ではなく、会員がアイデアを共有できるよう導く「ファシリテーター」としての役割を担うこととなり、ファシリテーション(進行、学びのプロセスの支援)を優先する「ラーニング」の文化に移行するために、役職名も変更されることとなりました。

本年度 2023 年 7 月 1 日より、ロータリーの研修に関する役職名が地区も含めて公式に変更されました。

- ・クラブ研修リーダーは 「**クラブ・ラーニングファシリテーター**」
- ・クラブ研修委員会は 「**クラブ・ラーニング委員会**」 に順次移行してください。

委員長は兼務でも可ですが、役職名は2つ明記するようお願い致します。

今回の RI 本部からの「トレーニングモデルからラーニングモデルへの変更」という問題提起は、研修する側も学ぶ側も、ロータリー研修に対する意識を大きく変えることを求められています。

*ファシリテーターとは、会議などの場で参加者に発言を促し、話の流れを纏め、会議や研修の目的であるゴールに参加者を導く誘導役